

第14回全国市議会議長会研究フォーラム報告書

委員名： 愛敬 重之

- 1. 研修先 : 高知ちばさんセンター
- 2. 研修日時: 令和1年10月30日(水)~31日 午後1時00分~ 2日目午前9時00分~
- 3. 研修事項: 議会活性化のための船中八策

4. 研修を通しての考察・参考となった事例・感想等

10月30日

第1部基調講演 「現代政治のマトリックス—リベラル保守という可能性—」

講師: 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志

第2部パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター: 朝日新聞論説委員 坪井ゆづる

パネリスト: 市町村職員中央研修所学長 高部正男

(株)コラボボ代表取締役 横田響子

高松丸亀商店街振興組合理事長 古川康造

高知市議会議長 田鍋 剛

第3部意見交換会⇒不参加

10月31日

第4部課題討論 「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター: 朝日新聞論説委員 坪井ゆづる

事例報告者: 上越市議会議員 滝沢一成

鎌倉市議会議長 久坂くにえ

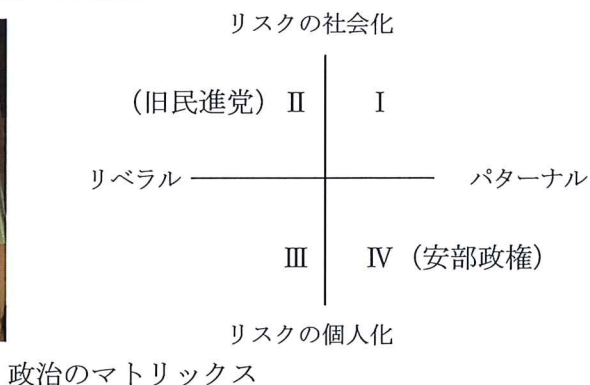
周南市議会議長 小林雄二



第1部

「現代政治のマトリックス—リベラル保守という可能性—」

講師: 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志



①配分をめぐる軸・・・Y 軸

⇒セーフティネット強化 (リスクの社会化) VS 自己責任 (リスクの個人化)

②価値をめぐる軸・・・X 軸

⇒リベラル VS パターナル

保守とは

カール・マンハイム『保守主義的思考』から解説がありました。

「伝統主義」(自然的保守主義)と「保守主義」(近代的保守主義)

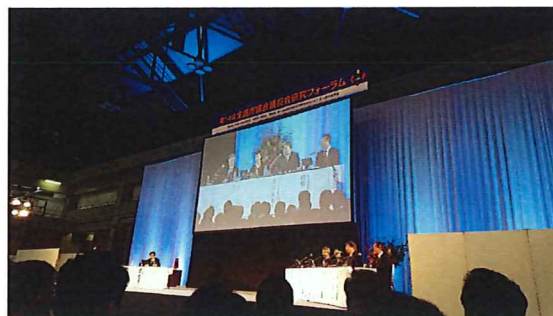
普遍的な人間の本性としての伝統主義とひとつの特徴な歴史的・近代的現象としての保守主義とを区別する。

保守するための改革

「ニーバの祈りから解説」

変えることのできるものについて、それを变えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受けられるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。

私たちの現在は、膨大な過去の蓄積・知的財産の上に成立し、「改革」とは、過去からの相続した歴史的財産に対する永遠の微調整であるとまとめていました。



第2部

パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター: 朝日新聞論説委員 坪井ゆづる

「いまだに『自治の主役』の自覚に欠ける議員が存在している」という「議会不信」が根強くあるのは否定しがたい事実ではないか。全国津々浦々で、選挙のたびに過去最低の投票率が相次いでいるのも、議会に向けられた冷ややかな視線の表れに見える。ならばこそ、こうした世論を踏まえつつ、このフォーラムを、活力があり、質の高い議会を実現してゆくための具体策を考える機会にしたいと考え、「議会活性化のための船中八策」と名付けた。

例えば

- 行政監視機能をどうやって高め、成果をあげてゆくか
 - 人口減少、外国人の増加、災害対応などなど、地域の将来を見据えた政策論議を進めるために必要な視点とは、なにか
 - 候補者男女均等法のもとで、「老々男男」の実態をどう変えられるのか
 - 規模の小さい議会で深刻化する「なり手不足問題」にどう対処するか
 - 住民の関心を高めるには、何をすべきか
- こうした諸問題を、討議するとありました。

パネリスト: 市町村職員中央研修所学長 高部正男

早急に検討すべき事項は

- 地方選挙の統一
- 地方自治の日
- 兼職・兼業規制の弾力化**
- 労働法制の見直し**
- 休暇 勤務時間 休職など
- 議員の厚生年金への加入

(株)コラボ代表取締役 横田響子

そもそも議会に必要なことは以下の3点をあげていました。

- 20年後の住民は幸せですか
- やりっぱなしになっていないか？数字とともにPDCAサイクルは回っているのか**
- 若手、女性の参加は？巻き込んで街を活性化する策は。

議会改革の具体的なアイデアはとして以下の3点をあげていました。

- 中長期視点で街の目指す方向を議論 人口減を前提に！(千葉大学の未来カルテ(予測)を活用)**
- ガチンコ会議を**多様な人材で実施**
- 経験の機会提供

高松丸亀商店街振興組合理事長 古川康造

古川氏からの議会に対するコメント

- 議会からもっと市民に寄り添って活動してほしい
- そもそも改革は必要なのか地域の市民の代表でありリスペクトされるようになってほしい。

高知市議会議長 田鍋 剛

地方自治法 96条 1項 2項を重視し、様々な議会改革を実施報告がありました

第4部課題討論「議会活性化のための船中八策」

事例報告者: 上越市議会議員 滝沢一成

上越市議会での「市議を目指しやすい環境整備への提言」ということで報告を伺った。

市議を目指しやすい環境整備検討会を設置したようですが、桑名市では昨年の選挙では、定数 26 人の中で、39 人と女性も 6 人立候補するなどあまり問題視するようなことがないような気がしました。提言として議長に提出については今後参考にあると思いつけました。

大項目	小項目	大項目	小項目
1. 市民と議会の距離を縮める ※ステップ1 こころの問題解決 ※2. 以下 ステップ2	(1)議会傍聴の改革・活性化	3. 物理的課題の解決	(1)議員報酬の適正化
	(2)模擬議会、議会体験学習の実施		(2)社会保障の充実
	(3)意見交換会の改革		(3)政務活動費の見直し
	(4)広報PRの充実		(4)議員定数の検討
	(5)土日、夜間、出張議会の開催	4. 取り巻く環境の解決	(1)地域環境の整備
	(6)インターン制度、サポーター制度、勉強会等の実施		(2)人材育成
	(7)言葉、表現力の改革	5. 女性特有の壁の打破	(1)意識改革・啓発活動
2. 選挙の困難さの解決	(1)選挙マニュアルの作成		(2)地域活動との連携
	(2)公職選挙法改善を国に求める		(3)バックアップ体制の整備
			(4)クオータ制度の検討

この中から、早急に取り組むべき7点を取組んでいったようです。やはり議会改革は必要かと思っています。

多種多様な提言内容のうち、「市民に関心をもち、理解してもらう」、「女性へのアプローチ」といった観点で、早急に取り組むべき7点を選出した。

- ① 議会傍聴の改革・活性化
- ② 模擬議会、議会体験学習の実施
- ③ 意見交換会の改革
- ④ 広報PRの充実
- ⑤ 選挙マニュアルの作成
- ⑥ 議員報酬の適正化
- ⑦ 女性フォーラムの開催

鎌倉市議会議員 久坂くにえ

久坂議員からは「女性議員の現状の視点」ということで、報告を伺った。

環境整備にむけて4つの視点がありましたので記載します。桑名市の場合6人もの女性議員がおり恵まれている方かと思いました。

環境整備に向けて

- ① 出産に伴う議会の欠席に関する規定について、取得期間及び運用についての考え方を明示
- ② 子の看護休暇に関する規定の整備
- ③ 配偶者出産休暇の取得
- ④ I P U 「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」に則った、議会における仕事と家庭の両立支援のためのインフラ及び議会文化の整備又は改善

周南市議会議員 小林雄二

合併誕生後、78人の議員でスタートしたが、報酬が旧市により異なり、5月16日に即日解散。

平成16年6月20日の出直し選挙後、議会解散の経験を教訓として「議会改革」に取り組んだそうです。

様々な改革を実施していたのですが、議員個人の議会に対する賛否が市民に公開となっていませんでした。

まとめ

坪井ゆづる氏より、「議会活性化のための船中八策」についてまとめがありました。

- ① 行政監視機能の充実
 - ② 地方自治法96条1項2項を重点的に
 - ③ 中長期視点で街の目指す方向を議論
 - ④ ガチンコ会議を多様な人材で実施
 - ⑤ 数値とともにPDCAをまわすように
(未来カルテ 予測) など使う
 - ⑥ 労働法制の見直し
 - ⑦ 議会報告会や広報などフルに活用
 - ⑧ 女性議員の成り手環境整備について
- ・ 8つの議会活性化のヒントがまとまりました。
2日間様々な方の報告など伺いましたが、本市議会は結構できていると感じました。 以上